

From Bangkok **Sá-wát-dee** สวัสดี



バンコク日本人学校
26派遣 坂井啓介
サワディー通信 No.3
平成27年1月5日

街の様子と国語の授業！

日本のみなさん、サワディーピーマイクラップ！（あけましておめでとうございます）
バンコクは、11月から乾季に入り、最低気温が20度代前半と、ずいぶん過ごしやすくなりました。さすがに日中は30度を超えますが、今が一番いい季節といえそうです。
今回は、バンコクの街の様子とバンコクならではの悩み(?)である授業を紹介します！

★バンコクでのクリスマス

基本的に仏教国であるタイですが、クリスマスは日本と同様、楽しいイベントとして定着しています。11月を過ぎると、街にはクリスマスを意識したイルミネーションがあふれます。しかし、クリスマスといえば、寒いというイメージがある私にとっては、30度を超える気温の中で見るツリーにはかなりの違和感がありました。



バンコクを代表するショッピングモール「セントラルワールド」とその前の広場に建てられたクリスマスツリー。ツリーはアジアで一番高いとか。セントラルワールドには日本の百貨店「伊勢丹」もあります。

セントラルワールドにある、アイススケートリンク。アイススケートは確かに冬のイメージですね。青白いLEDも冬のイメージによく合いますが、みんな半袖で楽しんでいるところがバンコクスタイルです(^^)

★バンコクのお正月



日本では、冬休み＝お正月休みともいえるのですが、ここバンコクでは年の変わり目はそれほど大きな行事ではないようです。地元の学校は大晦日と元日、2日だけが休みです。新年を迎える瞬間には、あちこちで花火が上がりますが、初詣や初売りなどはなく、ひっそりとした新年を迎えました。

タイでは、4月に「ソクラン」と呼ばれる休日があります。もともとタイの旧暦でお正月にあたります。バンコクの人たちにとってはこちらの方が大きな行事なのです。（この通信のNo.1で紹介しています）

ちなみに、「A HAPPY NEW YEAR」という飾りは、12月から街中にあり、4月までずっと残っているところもあります。

ちょっと困った！国語の授業

バンコク日本人学校では、日本の学校と全く同じ学習をしています。私が担任している1年生の国語の教科書には、次のような題材があるのですが…

★じどう車くらべ

トラックは、にもつをはこぶしごとをしています。そのために、うんてんせきのほかは、ひろいにだいになっています。

トラックについての説明です。当たり前なのが書かれているわけですが、タイでは



ごらんのとおり、どう見てもトラックなのに、荷物ではなく人がたくさん乗っています。これは「ソテウ」と呼ばれる乗り物で、タクシーとバスの中間みたいなものです。一応、荷台には両側に向かい合うようにベンチのような座席があります。（ソテウとは「2列」という意味です）街の中にはこのようなトラックともバスともいえないような自動車がたくさん走っており、日本の常識に当てはまらないのです。上の文を読んだ子どもたちも、「でも先生、荷台には人がたくさん乗ってるよ。」と不思議そうでした。タイでは、広い荷台は必ずしも荷物を載せるとは限らないのです。

★あつまれ、ふゆのことば

たべもの…おぞうに、みかん
あそび…たこあげ、ゆきがっせん

いえのなか…こたつ、ストーブ
ふくそう…マフラー、手ぶくろ



タイには、雨季と乾季がありますが、日本のようにはっきりした季節の移り変わりはなく、景色にもほとんど変化がありません。教科書にのっている上のような言葉も、日本であれば当たり前、わざわざ説明する必要もないぐらいです。

しかし、バンコクに長く住んでいる子どもの中には、冬がどんなものなのか、イメージがつかめない子どももいます。中には、雪を見たことがない子どももいます。

日本から持って来た、もちつきや初詣、スキーなどの写真を見せながら説明しましたが、これには本当に困りました。



左の写真は、おうちの人に聞いて集めた冬の言葉を使って作ったカルタで遊んでいるところです。

右は12月に見頃を迎えるひまわりの花。次号もお楽しみに。